

科目名称(Course Title)				担当教員(Instructor)	
医療情報学				星 雅文	
開講学期 (Semester)	単位数 (Credits)	履修年次 (Requirement)	授業形態 (Class Type)	受講定員の有無 (Maximum Enrollment)	授業公開 (Workshop Class)
前学期	2単位	2年次	講義	無	無
授業の概要(Course Description)					
<p>医療情報システムを病院に導入する際には、まず病院側でシステムを「何のために」「どのように」利用するのかを理解し、その思想に基づいた設計書（要求仕様書）を作らなければならない。</p> <p>医療における情報システムの導入が企業への導入と根本的に異なるのは、思想が重要だという点であり、その再認識から講義を始める。そして具体的にシステム導入後の運用や管理方法について学び、特にオーダーリングシステム・電子カルテシステムを現場に導入する際の基本的な考え方と作業手順の理解を目的とする。また、導入に際しての組織構築や他部門システムとの連携、業者との折衝方法、導入後の運用体制構築などについて、実際のシステム導入事例を病院見学を通じて理解し、示して解説する。</p>					
授業の到達目標(Course Objectives)					
<ol style="list-style-type: none"> 1) 医療において情報システムを導入することの意義を前提知識のない人に明確に説明できる。 2) 情報システム導入に際して発生する各種イベントの必要性と内容を概説できる。 3) 医療情報技師が医療機関において果たす役割について説明することができる。 					
授業計画(Course Schedule)					
第 1 回	「医療情報システム論」試験の解説と復習				
第 2 回	医療情報の標準化 / コンテンツ・情報交換の標準化				
第 3 回	病院情報システムの設計と導入計画の作成 / システムの開発体制と要求仕様の決定				
第 4 回	病院情報システム導入に関わる組織間の調整、及び業者との関係について				
第 5 回	見学する病院の組織体制・医療機能、および情報システムの状況について				
第 6 回	病院情報システム見学 / 担当教員の前職である医療法人の病院情報システムを見学				
第 7 回					
第 8 回	病院情報システム見学の振り返り / 当該病院の優れている点および問題点				
第 9 回	病院実習に向けての準備 / 病院の情報システムについての知識確認と実習で見学するポイントについて				
第 10 回					
第 11 回	病院実習の振り返り / 実習病院で見た情報システムの利用状況と問題点				
第 12 回	病院情報システムにおけるハードウェア・ソフトウェア・データの維持管理				
第 13 回	病院情報システムにおけるシステムトラブルへの対処と管理体制				
第 14 回	病院情報システムの評価と改善				
第 15 回	医療現場における医療情報技師の役割と今後の展望について				
授業時間外学習(Supplementary Activities)					
<p>本科目で学ぶのは、大学生が医療情報技師の資格取得を目指す場合に最も苦手とする分野である。医療現場をイメージする力がどうしても必要であり、他の科目で学んだことを総合して理解する力が求められる。予習として下記に指定するテキストのページに一度目を通すことにより、より深い理解につながる。また復習として、配布資料やノートと共に受講した範囲のテキストを読み直すこと。</p>					

成績評価の方法と基準(Grading)	
評価方法 (割合)	評価基準
<ul style="list-style-type: none"> ・ 期末試験 (70%) ・ 講義中の質疑への対応 (30%) 講義への参加姿勢 	<p>秀 : 病院における情報システムの導入について、<u>わかりやすく説明ができ、かつ、問題点を的確に指摘</u>できている。</p> <p>優 : 病院における情報システムの導入について、関連するキーワードを挙げ、<u>わかりやすく説明</u>できている。</p> <p>良 : 病院における情報システムの導入について、関連するキーワードを挙げ、<u>それらについて述べる</u>できている。</p> <p>可 : 病院における情報システムの導入について、関連するキーワードの理解において、最低限の水準を満たしている。</p>
<p>テキスト (Textbook)</p>	<p>【書名】 医療情報 (第5版) 【著者】 日本医療学会医療情報技師育成部会 医療情報システム編</p> <p>【出版社】 篠原出版新社 【出版年】 2016年4月版</p>
<p>参考書・資料等 (Supplementary Reading)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 診療情報管理Ⅲ (第4章) : (社) 日本病院会 ・ 医療情報サプノート (第3版) : (一社) 日本医療情報学会
<p>備考 (Other Information)</p>	<p>医療の専門科目は各回の講義内容が次の講義につながるが多いため、欠席により講義に付いていけなくなる恐れがある。事情によりやむなく欠席した場合は、後日必ず資料などを受け取り、講義出席者と同様の復習を行うなど、積極的に取り組んでいただきたい。</p>
<p>教員との連絡方法 (Contact With Instructor)</p>	<p>講義や会議、あるいは出張などにより研究室に不在であることが多いため、火急の際には下記の連絡手段を用いてアポを取ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Email : hoshi-masatake@fukuchiyama.ac.jp ・ 携帯電話 : 090-1616-8855 (ショートメッセージ可)